

地域から集会、行動を積み上げ総選挙準備を

社会民主主義フォーラムは9月25日（月）、総会後初となる第4回運営委員会を開催し、当面する情勢や課題を整理し、具体的な取り組みについて協議しました。当日は吉田忠智、羽田圭二両代表の挨拶の後、吉川はじめ衆議院議員から国会報告を受けました。そして提案された議案（以下、要約）を審議するとともに、中間選挙や党活動強化など、この間の各地での取り組みについて交流を深めました。解散総選挙については候補者の擁立を含めしっかりと準備し体制を確立していくことが課題です。

1、第3回総会後の活動経過（略）

2、当面する情勢と課題について

1）第2次岸田再改造内閣と臨時国会の対決点

第二次岸田再改造内閣がスタートした。女性閣僚は過去最多に並ぶ5人となったが、副大臣・政務官には一人の女性も起用されないなど、大きな課題を抱え、世論調査でも内閣支持率は下がっている。また11人が初入閣となったが主要な閣僚・党役員は留任させた。来年秋の総裁選候補と目される人物を政権内に取り込み、総裁選出馬に対するけん制と見ることができる。

10月中旬から臨時国会が召集される。ガソリン価格の高騰をはじめとする物価高対策のあり方、先送りされてきた敵基地攻撃などの防衛力強化と財源・予算の課題、同様に「異次元」と称する子ども子育て政策と財源問題、温暖化対策を隠れ蓑に大転換される原発政策などが引き続き争点となる。

そして不安を置き去りにしたまま開始された福島第一原発の汚染処理水の海洋放出、いまだ総点検が続けられているマイナナンバーカードと保険証廃止の問題などが新たな争点となっていく。また今秋にも旧統一教



会への解散請求が行われると見られるが、新閣僚の中にはいまだ関係を持つ議員がいるなど、半世紀にも及ぶ教団と自民党との癒着も厳しく追及されなければならない。

2）各党の動向と野党共闘の課題

国民民主党は代表選挙において玉木代表を再選した。これまで玉木代表は繰り返し与党との連携を表明してきた。当面の与党入りはなくなったが、立ち位置の危うさは国会での共闘、総選挙に向けた協議に大きな影響を与える。立憲民主党には野党としての原則を踏まえた働きかけが求められる。

日本維新の会は自らを「第二自民党」と位置づけ、



又市征治さん ご冥福をお祈り致します

社会民主主義フォーラムの顧問である又市征治・元参議院議員が9月18日（月）早朝、敗血症のためお亡くなりになりました。79才でした。立憲民主党への合流に際しては力強いイニシアチブを発揮され、フォーラムに対しても様々なアドバイスをいただきました。

9月20日（水）の葬儀には、枝野幸男衆議院議員（前代表）、福山哲郎参議院議員（元幹事長）など約500人が参列しました。なお富山と東京でお別れの会が行われる予定です。

立憲民主党や共産党に対して「役に立たない政党」「なくなっていい政党」と口汚く批判を強めている。維新の会とはもはや野党とは言えず選挙協力はあり得ない。しかし「改革」を求め維新に期待してきた無党派層は多く、総選挙においては確実に取り戻さなければならぬ。立憲民主党にはどのようなビジョンを掲げたか問われることになる。

市民連合は憲法9条と13条を基本にした政策の共有を各野党に呼びかけ総選挙での協力を促している。今後市民連合を介した連携をどのように進めていくか、これによって総選挙をたたかう構図が明らかとなる。各県の事情を踏まえつつ、各政党への呼びかけや政党間の協議を真摯に行うことが求められる。

3) 党強化の取り組みと総選挙準備



この間、党の地域組織の在り方や機関運営の課題について意見反映を行ってきた。引き続きこうした努力を続けていこう。また政治セミナーや学習会の開催などフォーラム会員の学習と交流の場を作っていくことも重要な課題だ。引き続き宮城、福島県議選など年内の中間選挙の勝利に全力をあげよう。

臨時国会での解散総選挙が取り沙汰されている。立憲民主党は200名の擁立(9月12日現在159名)に向け取り組みを進めてきた。当面10月22日(日)の補欠選挙(参・徳島高知選挙区、衆・長崎4区)の勝利を目指す。候補者を先頭に各県・各選挙区で展開される小集会やキャラバン(写真)など総選挙に向けた様々な取り組みを積極的に担っていこう。

労働運動や大衆運動との結びつきは党強化にとって欠かせない課題である。物価高騰の中で生活水準は悪化している。政府も「持続的な賃上げ」を掲げており、非正規雇用や労働条件の向上を含め、党と労働運動と

の日常的な連携が必要である。また脱原発、護憲、人権など党の大衆運動への積極的な参加と関係を改善・強化するためにも私たちの果たす役割は重要だ。

3, 具体的な取り組み

1) 秋期政治セミナーの開催

対面とオンライン(ズーム)との併用で開催する。一都三県には会場参加を呼びかけ全国の会員にはオンライン(ズーム)での参加を呼びかける。

第1回、第2回セミナーは下表を参照のこと。第3回セミナーは11月中下旬で検討中。

2) 労働組合との懇談会の開催

日 時：10月11日(水) 午後4時30分から

会 場：衆議院第2議員会館 第7会議室

3) 自治体議員団会議

①第3回運営委員会

日 時：10月22日(日) 午前10時～午後0時

会 場：オンライン(ズーム)開催

②全国総会

一都三県には会場参加を呼びかけているが、可能な限り全国からの参加者も会場参加を要請したい。なお講演会は自治体議員以外の参加も可能。

日 時：11月5日(日) 午後2時～午後3時20分

会 場：TKPスター会議室四谷 3階第2会議室

講演会：同日 午後3時30分～午後4時50分

テーマ：ALPS処理水の海洋放出を問う(仮)

講 師：伴英幸(ばん・ひでゆき)さん。原子力資料情報室共同代表

4) 第2回全国交流会の開催

第2回全国交流会を12月10日(日) 午前10時から午後4時までオンライン(ズーム)で開催する。

午前中に全体会で基調提案と記念講演を行い、午後から分科会(活動と政策の2分科会)、その後分科会報告と交流会集約を兼ねて全体会を行う。

5) 組織調査と財政活動(略)

6) 情報発信の強化(略)

●●自治体選挙の結果●●

9月3日に投開票された岩手県議会議員選挙では、いずれも立憲民主党公認の小西和子さん(現4)、佐藤ケイ子さん(現2)が当選しました。

第1回セミナー

★憲法をめぐる情勢と課題

辻元清美(参議院議員)

日時 10月5日(木) 17:30～

会場 衆議院第2議員会館 第8会議室

第2回セミナー

★待ったなし 教員の働き方改革

瀧本 司(日教組委員長)

日時 10月31日(火) 17:30～

会場 衆議院第2議員会館 第8会議室